

予算を投入すべきであるか要因分析の結果をきつて決すべきものである、

枕料の不良率が変動要因とは云えない様な区間になお、資材を投入して線路の保守状態を向上したとしても莫然とした修理をした場合と同様合理的な、しかも経済的な運営方法をなしたとは云えない。

適確なる手段を適確な場所に適時投入して軌道の保守状態を向上させることこそ合理的な運営方法である。

プレパクトコンクリート

プレパクトコンクリートについて

西松建設九州支店長

西 松 康 友

1. 沿 草
2. 理 論
3. 各種施工の説明
4. 結 論